

AM運用休止実証実験に関する報告書

— 第2期実証実験 —

令和8年10月30日

長崎放送株式会社

はじめに

長崎放送では、2024年2月5日から2025年1月31日まで、佐賀県全域を対象にAM休止の実証実験を行いました。さらに2025年2月1日から佐賀県内の実証実験は延長をしていました。

また、2025年12月1日からは長崎県諫早地区においてもAM休止の実証実験を開始し、いずれの実証実験も2026年9月30日までの実験を行いました。2025年2月1日からの実験の実績の概要を報告いたします

1. AM休止実験局

局名	休止期間
佐賀放送局	令和6年2月5日～令和8年9月30日
唐津放送局	
伊万里放送局	
有田放送局	
諫早放送局	令和7年12月1日～令和8年9月30日

※令和8年10月1日より休止期間を令和9年1月31日まで延長しています

2. 世帯・エリアカバー率を最大限維持するために講じた方策

(1) 自治体への周知及び協力依頼

- ・佐賀県及び佐賀県の全市町に説明
- ・長崎県及び諫早市に説明
- ・自治体にポスター、チラシを送付（施設に貼付又は配布を依頼）
- ・自治体広報誌への掲載を依頼

(2) トンネル事業者へのFM再送信の依頼

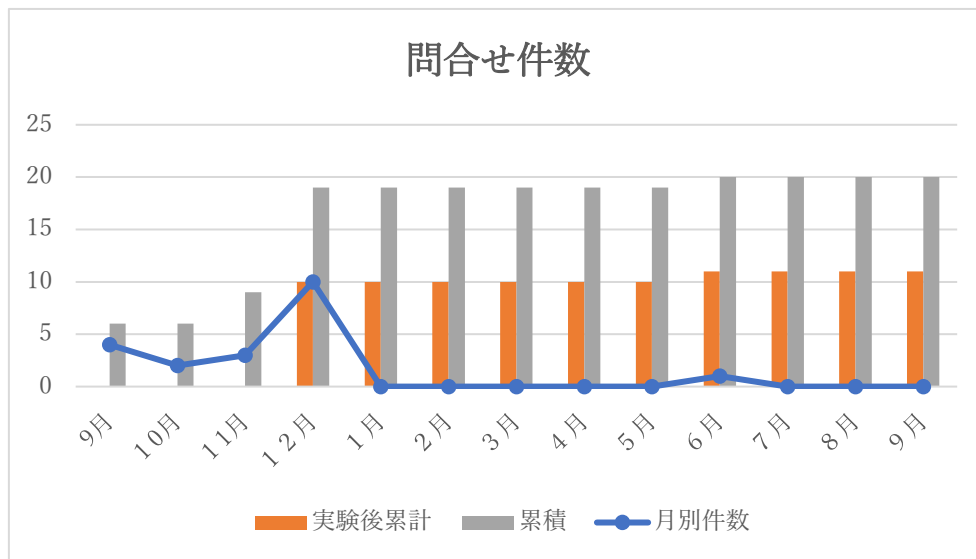
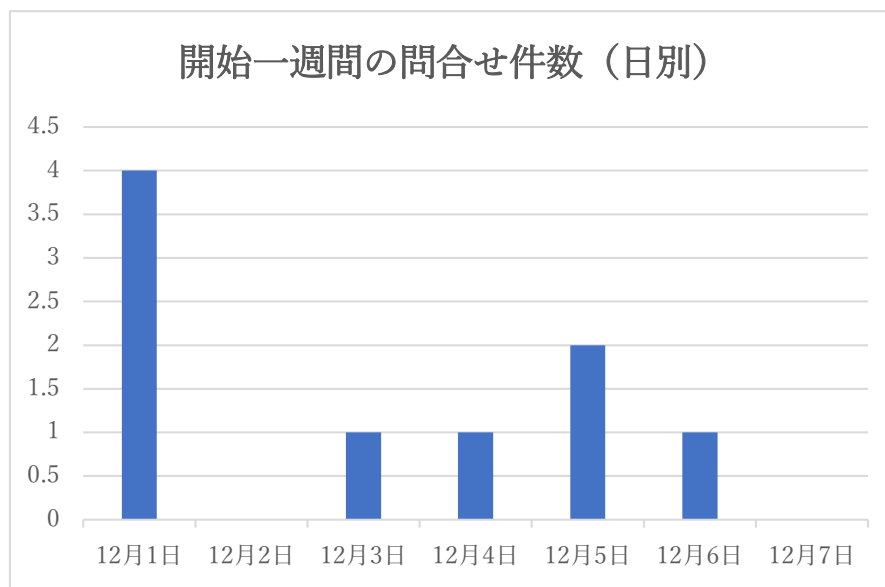
トンネル内でラジオ放送を再送信している事業者に対して、AM放送からFM放送への切り替え等の検討を依頼しました。

(3) 電波媒体等による告知

- ①自社ラジオ番組内及び自社WEBサイトでの告知
- ②広報誌等への掲載

3. 問合せ窓口等における対応

(1) 問合せ等の状況



諫早放送局休止

(2) 特例適用局の運用休止中の問合せ等の内容

問い合わせの種類	比 率
AMが聞こえなくなった	35%
F Mが受信できない	15%
F M受信方法	30%
その他	20%

4. 地方公共団体へのアンケート調査結果

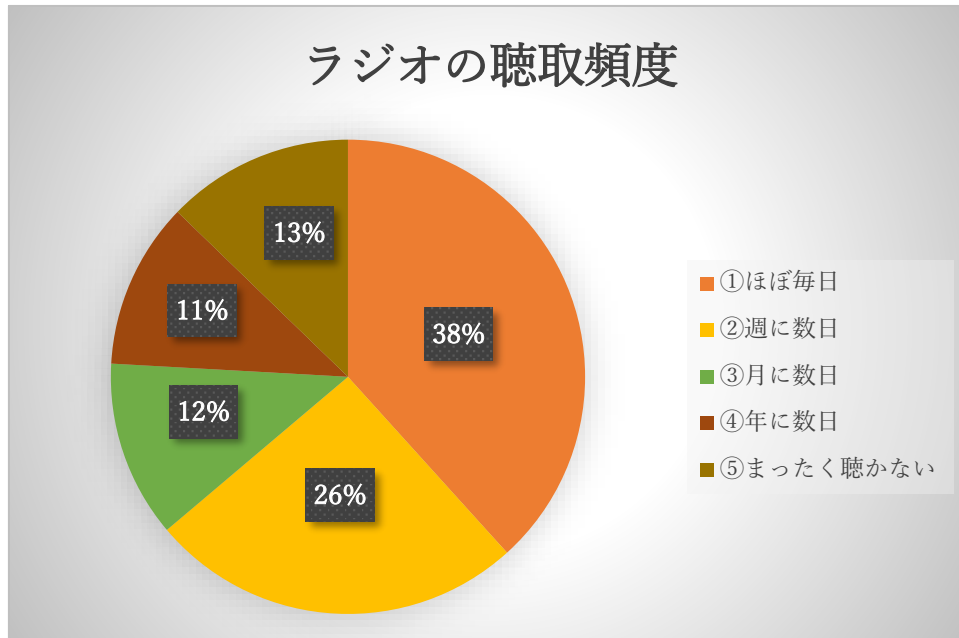
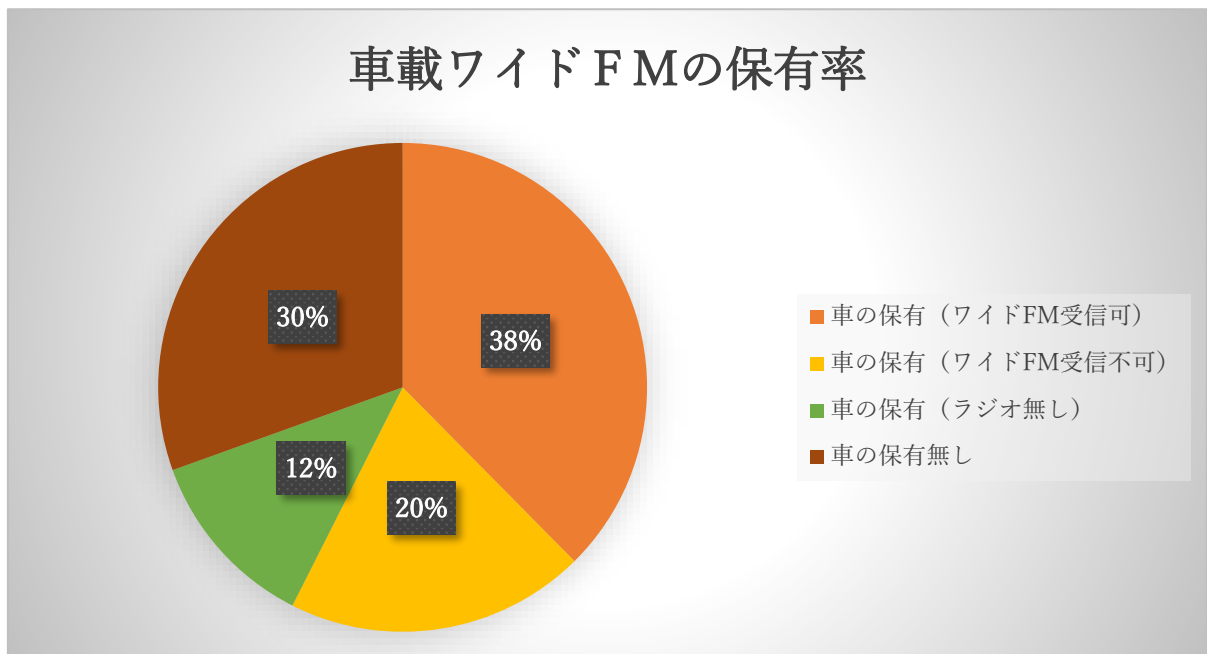
①自治体へのアンケート結果

設問	回答
問1 問合せの有無	①あった (4%) ②なかった (96%)
問2 上記で①の 問い合わせの内容	令和6年当時、中山間地域の自治会長から「ワイドFM等が聞けない」「災害時は困る」といった意見が出たことを確認している (第1期で報告済み)
問3 災害時等の情報 提供への支障の有無	①あった (0%) ②なかった (83%) ③災害が発生しなかった (13%) その他 (4%)
問4 上記で①の 支障の内容	支障の有無について把握していない
問5 運用休止継続 への支障の有無	①支障がある (0%) ②支障はない (96%) その他 (4%)
問6 上記で①の 支障がある理由	現時点では支障はない
問7 AM ラジオ放送 の休止に関して、要 望・改善点	AM 放送の廃止につきましては、当該アンケートの回答内容に左右されるべきものではなく、指定地方公共機関としての災害対策における役割をはじめとする地域における情報伝達手段としての公共性や記者の経営判断等を総合的に勘案した上で、貴社の責任下において適切にご判断されるべき案件であると認識しております。 また、今後の進行に伴い市民（聴取者）からの問い合わせが生じた際には、貴社が主体となり一切の責任をもって、確実かつ誠実にご対応されるものと承知しております。

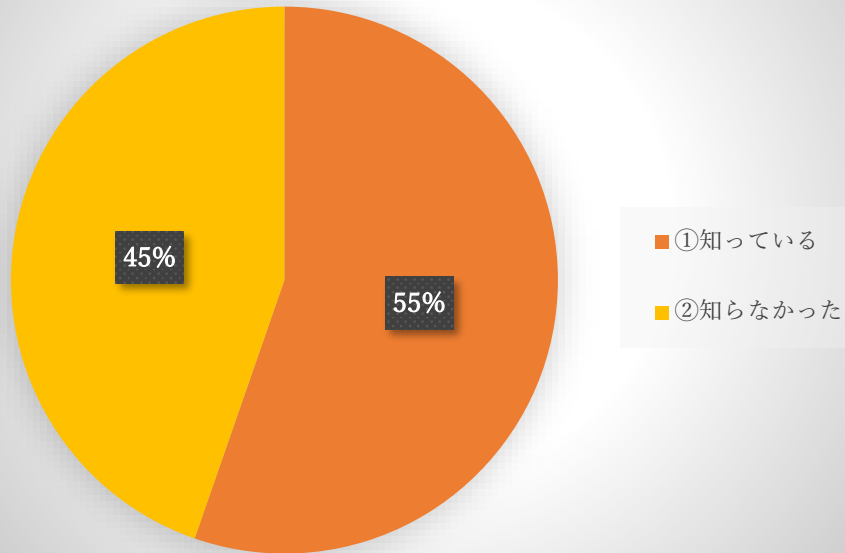
②道路関係者へのアンケート結果

設問	回答
問1 問合せの有無	①あった (0%) ②なかった (100%)
問2 上記で①の 問い合わせの内容	
問3 災害時等の情報 提供への支障の有無	①あった (0%) ②なかった (0%) ③災害が発生しなかった (100%)
問4 上記で①の 支障の内容	
問5 廃止への支障 の有無	①支障がある (0%) ②支障はない (100%)
問6 上記で①の 支障がある理由	
問7 AM ラジオ放送 の休止に関して、要 望・改善点	なし

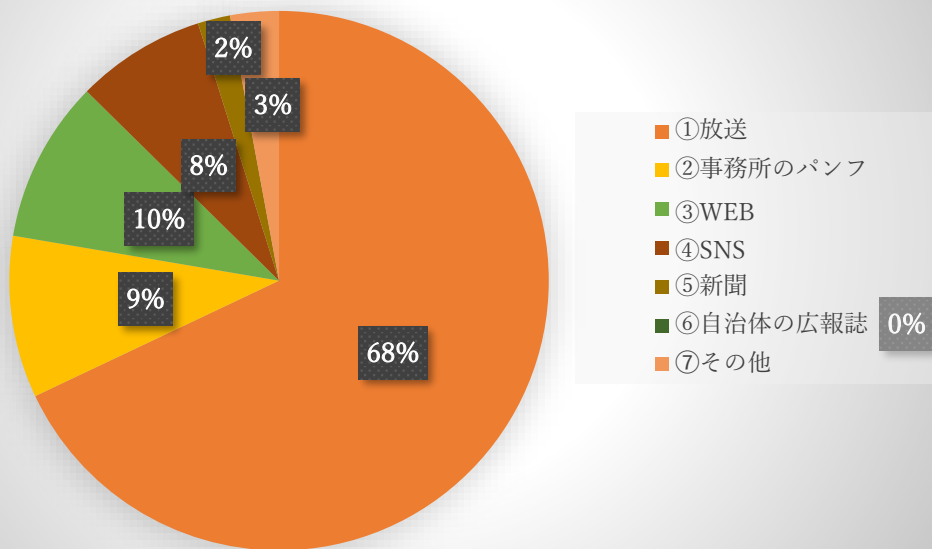
5. 住民の認知及び理解に関するアンケート調査結果



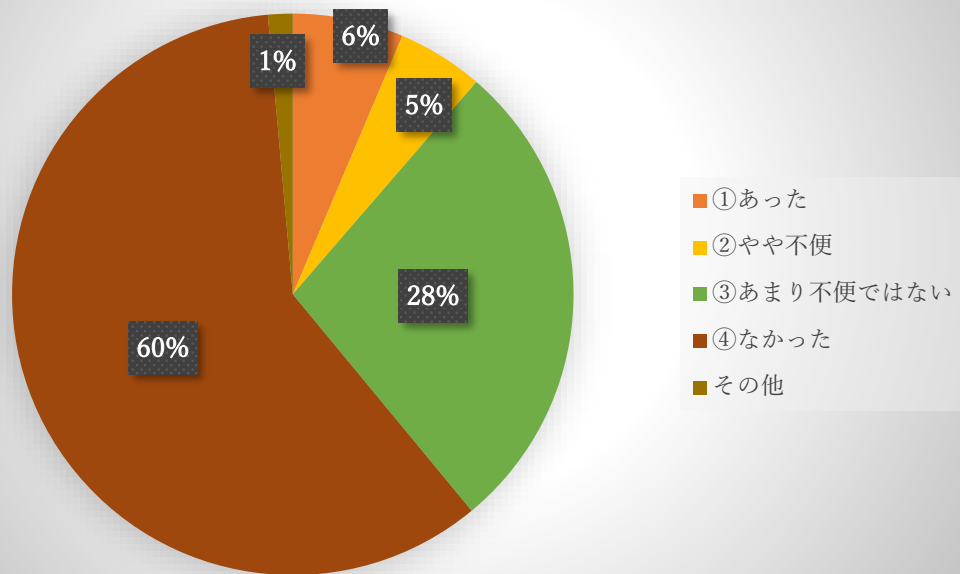
AM休止の認知度



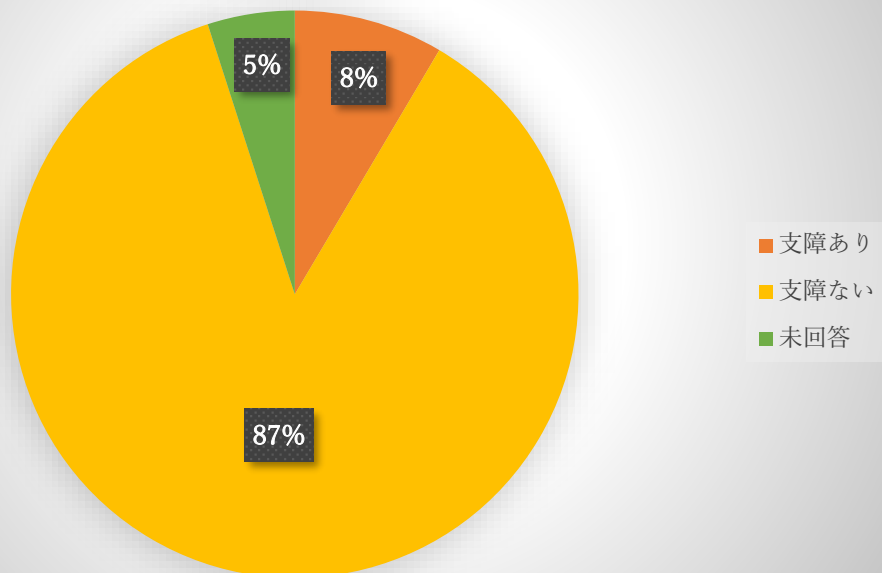
AM休止を何で知ったか



AM休止で支障があったか



A M廃止に支障があるか



6. AM休止実験の総括

今回、佐賀県内では2年8カ月、諫早地区では10カ月の長期に渡って実証実験を重ねて参りました。視聴者の皆様には、この期間に、FM受信への移行、ラジオでの聴取対応を実施していただき、理解を得られたものと判断いたしました。

住民アンケート、地方公共機関のアンケートにおいても、AM廃止に支障がないという回答を多く頂いております。もちろん、支障がある方も数パーセントいらっしゃることも認識しておりますので、今後も、丁寧な相談対応を実施し、多くの視聴者がNBCラジオを聴いていただけるよう努めて参ります。

以上の結果から、佐賀県及びに長崎県諫早地区で実証実験を行いましたAM放送局の5局については、FM受信や、ラジオ受信などの代替手段の対応が可能で、それでも支障がある方に対しては個別に対応していけるものと考えられることから、2027年2月1日をもって廃止し、FM転換を進めたいと考えています。